



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年8月3日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4512 URL http://www.wakamoto-pharm.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 信行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 増田 康彦 TEL 03-3279-0371
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,345	—	△44	—	11	—	△71	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△2.05	—
24年3月期第1四半期	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	16,853	12,090	71.7
24年3月期	16,849	12,102	71.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 12,090百万円 24年3月期 12,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,760	0.9	△300	—	△230	—	△230	—	△6.61
通期	9,860	4.8	△250	—	△110	—	△10	—	△0.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	34,838,325株	24年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	46,910株	24年3月期	45,886株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	34,792,104株	24年3月期1Q	34,805,880株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、当期より連結財務諸表を作成していないため、前期との対比は記載していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	7
(7) その他の注記事項	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、一般用医薬品市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあつて当社グループの医薬事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」、「ゼペリン点眼液0.1%」等の点眼剤、緑内障・高眼圧症治療点眼後発薬「ラタノプロスト点眼液0.005%わかもと」・「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」、眼科手術補助剤「マキユエイド硝子体内注用40mg」、眼科用アデノウイルス抗原検出キット「キャピリア アデノ アイ Neo」、広範囲抗菌剤「レボフロキサシン点眼液0.5%わかもと」の販売促進に加え、角結膜上皮障害治療剤「ヒアルロン酸Na点眼液0.1%わかもと」、共同販売医家向けサプリメント「オキュバイト」シリーズ等を発売し、普及活動に注力いたしました。

薬粧事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズ」シリーズとして、「アバンビーズ シトラスミント味」「アバンビーズ ラ・フランスミント味」「アバンビーズ ワイルドミント味」「アバンビーズ ダンブランシュ」「アバンビーズ コーラルε（イブシロン）」の5製品を昨年3月にリニューアル発売いたしました。

特販事業では、海外向けに「わかもと」、乳酸菌および点眼剤を、国内向けに医薬品原料の販売と他社受託品の製造販売に努めてまいりました。

特別損益として、平成24年6月に退任した当社取締役1名より役員退職慰労金辞退の申入れがあり、これにより、役員退職慰労引当金戻入額136,300千円を計上しております。また、株価低迷に伴い投資有価証券の評価減をおこない投資有価証券評価損158,622千円を計上しております。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は23億4千5百万円、営業損失4千4百万円、経常利益は1千1百万円、四半期純損失は7千1百万円となりました。

なお、当社は当第1四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、前第1四半期累計期間との対比は記載しておりません。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では、新発売の眼科領域製剤、点眼剤及び「ゼペリン点眼液0.1%」等が売上に寄与しましたが、「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」が減少いたしました。その結果、売上高は14億3千7百万円となりました。

薬粧事業では、主力製品の「強力わかもと」が売上に寄与しましたが「アバンビーズ」シリーズが減少し、その結果、売上高は4億6千9百万円となりました。

特販事業では、輸出用の「わかもと」、乳酸菌等が堅調に推移しましたが、国内向他社受託品及び海外向け点眼剤が減少いたしました。その結果、売上高は4億3千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、168億5千3百万円となり前事業年度末比3百万円(0.0%増)の増加となりました。流動資産は85億6千5百万円となり2億6千万円(3.1%増)の増加、固定資産は82億8千7百万円となり2億5千6百万円(3.0%減)の減少となりました。

流動資産が増加いたしましたのは、現金及び預金が増加したことが主たる要因であり、固定資産が減少いたしましたのは、工場設備等の減価償却により、有形固定資産が減少したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、47億6千3百万円となり前事業年度末比1千6百万円(0.3%増)の増加となりました。流動負債は21億5千2百万円となり2億1千8百万円(11.3%増)の増加、固定負債は26億1千1百万円となり2億2百万円(7.2%減)の減少となりました。

流動負債が増加いたしましたのは、その他に含まれる未払費用が増加したことが主たる要因であり、固定負債が減少いたしましたのは、役員退職慰労引当金が減少したことが主たる要因であります。

純資産の部は、120億9千万円となり前事業年度末比1千2百万円(0.1%減)の減少となりました。利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の71.8%から71.7%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、薬粧部門で「アバンビーズ」シリーズの売上が予想を下回り、また、製造部門では稼働率の低下と共に原材料費等の低減が進まず、売上原価が予想を上回る見通しであることから、第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年8月3日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,464,392	1,731,301
受取手形及び売掛金	3,563,872	3,536,366
有価証券	405,702	405,779
商品及び製品	1,410,438	1,468,044
仕掛品	399,005	376,487
原材料及び貯蔵品	505,329	450,359
未取還付法人税等	2,809	4,487
繰延税金資産	407,517	370,231
その他	146,761	222,796
流動資産合計	8,305,831	8,565,853
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,609,248	6,610,664
減価償却累計額	△3,525,098	△3,590,956
建物（純額）	3,084,150	3,019,707
構築物	266,971	280,443
減価償却累計額	△175,186	△179,267
構築物（純額）	91,785	101,176
機械及び装置	7,101,525	7,107,375
減価償却累計額	△5,767,726	△5,872,927
機械及び装置（純額）	1,333,798	1,234,447
車両運搬具	38,746	38,746
減価償却累計額	△33,341	△34,075
車両運搬具（純額）	5,405	4,670
工具、器具及び備品	777,620	781,196
減価償却累計額	△705,622	△714,165
工具、器具及び備品（純額）	71,998	67,030
土地	357,583	357,583
建設仮勘定	57,512	72,696
有形固定資産合計	5,002,234	4,857,312
無形固定資産		
特許実施権	300,000	300,000
借地権	51,277	51,277
ソフトウェア	50,717	46,933
その他	6,043	6,018
無形固定資産合計	408,038	404,228
投資その他の資産		
投資有価証券	1,649,897	1,578,905

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
保険積立金	800,214	811,230
関係会社出資金	1,777	1,777
繰延税金資産	602,927	556,249
その他	78,726	77,902
投資その他の資産合計	3,133,543	3,026,065
固定資産合計	8,543,815	8,287,607
資産合計	16,849,646	16,853,460
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	830,488	854,182
短期借入金	296,000	296,000
未払法人税等	30,065	8,882
未払消費税等	—	42,272
賞与引当金	192,600	78,914
返品調整引当金	10,000	14,000
その他	574,788	857,908
流動負債合計	1,933,942	2,152,160
固定負債		
退職給付引当金	1,330,743	1,315,160
役員退職慰労引当金	145,900	9,600
長期借入金	1,334,000	1,285,000
その他	2,590	1,389
固定負債合計	2,813,233	2,611,149
負債合計	4,747,176	4,763,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	5,902,075	5,830,807
自己株式	△13,558	△13,774
株主資本合計	11,960,229	11,888,745
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	142,241	201,404
評価・換算差額等合計	142,241	201,404
純資産合計	12,102,470	12,090,150
負債純資産合計	16,849,646	16,853,460

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,345,643
売上原価	1,109,366
売上総利益	1,236,276
販売費及び一般管理費	1,281,029
営業損失(△)	△44,752
営業外収益	
受取利息	95
受取配当金	17,783
受取地代家賃	6,275
受取技術料	34,062
その他	24,378
営業外収益合計	82,595
営業外費用	
支払利息	7,145
固定資産除却損	574
寄付金	2,840
その他	16,129
営業外費用合計	26,690
経常利益	11,152
特別利益	
役員退職慰労引当金戻入額	136,300
特別利益合計	136,300
特別損失	
投資有価証券評価損	158,622
特別損失合計	158,622
税引前四半期純損失(△)	△11,170
法人税、住民税及び事業税	4,000
法人税等調整額	56,097
法人税等合計	60,097
四半期純損失(△)	△71,267

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第1四半期累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注) 2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,437,851	469,087	434,101	2,341,041	4,602	2,345,643	—	2,345,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,437,851	469,087	434,101	2,341,041	4,602	2,345,643	—	2,345,643
セグメント利益又は 損失(△)(注) 3	△61,274	17,254	△2,020	△46,041	1,288	△44,752	—	△44,752

(注) 1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる、セグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

(6) 重要な後発事象

固定資産の譲渡

平成24年7月18日開催の取締役会において、以下のとおり、固定資産を譲渡することについて決議いたしました。

(1) 譲渡の理由

経営資源の効率的活用及び財務体質の強化を図るため。

(2) 譲渡資産の内容

①種類 借地権及び建物

②所在地 東京都世田谷区鎌田2-23-17

③現状 シンエイハイツ（賃貸アパート）

(3) 譲渡の相手先の名称

未定

(4) 譲渡の日程

契約締結日 未定

引渡期日 未定

(5) 譲渡価格

譲渡価格 未定

帳簿価額 64,811千円

(6) 損益に与える影響

未定

(7) その他の注記事項

平成24年4月10日付で大阪支店の土地譲渡契約を締結し、平成25年1月末日を引渡予定日としております。譲渡価格は161,000千円、当該土地の帳簿価額は16,031千円であります。